



第5回

2025年2月18日(火)
18:30 ~ 21:00 @おにクル4階

令和6年度から7年度にかけて、茨木市としての共創の方向性を定めていきます。市民の皆さん、市内に数多くある事業者、大学の皆さんと一緒にアイデアを出し合い、共創を小さく実現してみようというものです。今回は各チームのお試しの結果を発表し、取り組み内容を展示しました。また、シートを使ってこれまでのふりかえりをしました。



1 開会の挨拶（共創推進課 山脇より）

今回が茨木共創部の最終回となります。最初は初対面の人同士でお互いに緊張しながらだったかもしれませんが、チームの仲間同士で何度も話し合い、一緒にお試し企画をつくって取り組んでいく中で、今は楽しいと思えたり、自然と笑顔が生まれる関係になっているのではないのでしょうか。これが共創のよいところの1つだと思います。茨木共創部でできたつながりは、ぜひ継続していったほしいと思います。



2 各チームからのお試しの報告

スライドでの発表と併せて各チームの取り組みの展示ブースもつくりました。

食品ロスチーム

誤注文で発生するよどがわ市民生協さんのお酒のストックと、みくりや青果さんの野菜の端材(玉ねぎの皮や紫きゃべつなど)を使って、2/9に子ども向けの染色ワークショップを開催しました。6組の家族が参加してくれて、染色の合間には、おはなしのいえでの絵本の読み聞かせや芝生広場での○×クイズなど、子どもたちが楽しく食品ロスについて学べるようなプログラムを企画しました。参加者の満足度は高く、自宅でも食品ロスに取り組んでみようという声をいただきました。



名物づくりチーム

茨木の名物をつくろうと、「とりすき」に注目し、文献調査やアンケートを実施してきました。2/9には、メンバーだけでなくとり桑さんや季ごころ廣さんなど、地域のお店の方々にも来ていただき、試作&試食会を開催。前日には商店街で食材の買い出しをしたり、メのお米を北部整備推進課から提供してもらうなど、飲食店、生産者、専門家に関わっていただきながら取り組むことができました。当日は成田家さん、みしま館さん、チームメンバーなど、4テーブルでとりすきをつくりました。



IBAR@BOUSAI チーム

防災への興味が薄い人にも届くように、2/16にロカコさんの木製什器を使って、ハザードマップとローリングストックをテーマに、おにクル1階オープンギャラリーで展示と体験プログラムを開催。展示では、メンバーが愛用している防災グッズを無印良品さんの協力で展示することができました。ハザードマップに自宅をプロットしたり、避難場所を知るワークシート、伝言ダイヤル体験など、様々なプログラムも実施。シールで答えるアンケートには63名にご協力いただきました。



おにクルチーム

席に荷物を置いたまま離席する人がいる課題について、他施設に話を聞きましたが、かなり労力をかけていることがわかり、おにクルでの応用は難しそうでした。受験生への応援メッセージを募集する企画を通じて、この課題を認識してもらおうとをしましたが、こちらの意図が伝わりづらい結果に。そこで、次は困りごとをピクトグラムにして共感シールを貼っていただいたところ、多くの反応をいただくことができ、ダメと言わずに伝える塩梅が少し見えてきました。



3 ふりかえりシートで意見交換

取り組みを通じて学びになったことや新たな気づき、今後の展開についてシートを使ってふりかえりました。地域の人たちと連携できた、悩みに悩んだ“過程”がよかった、食品ロスや防災など実生活に活かせる内容でよかったという意見がありました。また、「1人の想いを実現する形」、「同じテーマの中でそれぞれのやりたいことを実現する形」など、共創には様々な形があることがわかりました。



4 講評

共創推進課長 向田より



課題解決でもなく計画策定でもないワークショップは初めての試みでした。結果、取り組むテーマもゴールもそれぞれでした。普段出

会わない分野の人同士が集まって取り組んでいたこと、やっているうちに仲間が増えていったこと、その過程で皆さんが楽しんでいったこと、その3点が茨木らしい共創と言えるのではと感じました。みんなで考え、悩みながら進めていく過程そのものも大切だということもわかりました。今後もおにクルのイベントなどの機会を使って活動を継続させてほしいと思います。

おにクル 久館長より



茨木市ならではの点では、中小企業の社長さんが自らお金を出して様々な活動をされることが特徴です。茨木童子のキャラクター

は市役所が決めたのではなく、事業者が集まってつくったものを行政が使わせてもらっています。市民活動への行政参加という形です。事業者と市民がうまく混じり合って、お互いに足りないところを補い合って実現させていくことができるのが、茨木らしいと思います。これからも市役所をあてにしすぎず、様々な方が主体的に活動していけるといいと思います。